

保護者の皆様へ

■これからの教育 STEAM教育

STEAM（スチーム）教育という言葉をご存知ですか。日本では文科省を含む政府推進のもと、STEAM教育の推進をはじめています。

STEAM教育の「STEAM」とは、Science(サイエンス/科学)、Technology(テクノロジー/技術)、Engineering(エンジニアリング/工学)、Art(アート/芸術)、Mathematics(まセマティクス/数学)の5つの頭文字をとった造語です。



STEAM教育はこれら5つの分野を横断的に学び、それらを応用し、創造的な方法で問題解決をはかることができる人材を育成するための教育方針です。2020年度から始まるプログラミング教育もSTEAM教育の一部といえます。

教材の中には恐竜のたまごなどの画像をどのように組み合わせれば目的の動画を実現できるかということを考え、実際にその動画を作成するという活動も用意されています。STEAM教育では課題にあわせて使うべきソフトも含めて全てを子供が考え、組み立て、解決できる人材の育成をめざしています。

これまでは先生や大人が答えを知っている課題を子供に与え、答えにたどり着かせる教育も多く行われてきました。今の世の中には大人も答えがわからない課題が山積しています。大人も答えを知らない課題に対してどのようにすればよいかを考え、解決していく力を育成するためにSTEAM教育が始まろうとしています。